

人権専門家がダボス会議に向けて声明

2019/01/22

国連人権高等弁務官事務所

ビジネスと人権に関する作業部会議長が、ダボスで開催される世界経済フォーラムに向けて声明を発表した。内容は以下のとおり。今回のフォーラムでは、企業活動全体を通して人権を尊重すべきすべての企業の責任が討議されないことを懸念する。この点が討議されない限り、今回のテーマである「グローバル化 4.0-第4次産業革命時代の新たな構造の共有」は、これまでのグローバル化の失敗の繰返しになるであろう。政府とビジネスリーダーに対して、持続可能かつインクルーシブな開発を達成するために、協力して新技術の潜在力を利用するよう求める。同時に次の点を想起したい。①ビジネスが人権を尊重することは、すべてのためのグローバル化活動に不可欠であること、②より多くの企業が実際に人権に妥当な注意をし、改善メカニズムを確立し、人権を尊重しつつあること、③人権侵害を回避する企業活動は、持続可能な開発の実現に大きく寄与すること、である。